

老人クラブにおける 地域の支え合い活動事例集

平成29年度 シニア活躍！地域支援担い手育成事業 報告書



老人クラブ活動推進リーダー養成講座



高齢者がいきいきと活躍できる地域づくりをめざして



一般財団法人 山口県老人クラブ連合会
〔きららシニア山口〕

はじめに

平成27年4月の介護保険制度の見直しによって、要支援者（要支援1、2）に対する介護サービスは、市町が新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）として行なうことになり、平成29年4月から全国の自治体で完全実施となりました。

新地域支援事業でめざすのは、高齢者が住みなれた地域でいきいきと暮らし続けるために、地域団体や住民参加による支え合いの仕組みをつくることです。

老人クラブはこれまでも、友愛訪問、サロン、日常生活の困りごと支援、健康活動など、地域で助け合い・支え合いの活動を行なってきました。これらの活動は、新地域支援事業で求められている「介護予防・生活支援サービス※」の内容にほとんど重なるものです。

今回の「シニア活躍！地域支援担い手育成事業」は、これまでの老人クラブ活動を生かして、新地域支援事業における住民参加が求められるサービスの担い手として老人クラブが参画することを目的として、山口県から補助金を受けて実施したものです。

具体的な事業内容としては、県内3市5クラブを「実践モデルクラブ」として指定し、介護予防・生活支援サービス等の活動に取り組んでいただくとともに、県及び県老連の主催で、「老人クラブ活動推進リーダー養成講座～今の時代に求められている老人クラブの役割とは～」を県内3か所で全4回の講座を開催しました。

本事例集（報告書）は、モデル指定した3市5クラブの活動実践及び老人クラブ活動推進リーダー養成講座の概要をまとめたものです。各地域での取組の一助となれば幸いです。

終わりに、本事業の実施にあたり御尽力いただきました実践モデルクラブの皆様、老人クラブ活動推進リーダー養成講座の講師の皆様をはじめ、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

平成30年3月
一般財団法人 山口県老人クラブ連合会
会 長 西川 三代子

※新地域支援事業で求められる「介護予防・生活支援サービス」の具体例

「多様な通いの場」

●交流サロン・喫茶室 ●趣味サークル ●健康教室 ●介護予防教室 など

「多様な生活支援」

●声かけ ●安否確認（電話訪問） ●見守り ●話し相手 ●お知らせ届け等情報提供
●高齢者詐欺被害防止 ●防火・防犯・防災や災害避難協力
●付添い（通院・買物・墓参・サロンやクラブ活動場所などへの同行）
●軽作業（電球・電池・水道パッキン等交換、重量物や高所物の移動、障子張替え、雑草刈り、植木剪定、簡単な家の補修 など）
●家事手伝い（掃除、窓拭き、ごみ出し、布団干し など） ●買い物や諸手続き代行
●配食 ●移送サービス など

目 次



■ 平成29年度 シニア活躍！地域支援担い手育成事業の取組について	1
---	---

実践モデルクラブの活動紹介

■ Case 1 生活支援の取組	4
■ Case 2 通いの場づくりの取組	12
■ Case 3 地域奉仕（ボランティア）活動の取組	20

老人クラブ活動推進リーダー養成講座 ～今の時代に求められている老人クラブの役割とは～

■ 老人クラブ活動推進リーダー養成講座概要報告	24
■ 特集 愛知県阿久比町 いきいきクラブ宮津山田達者会 お助けマン活動について	26

その他

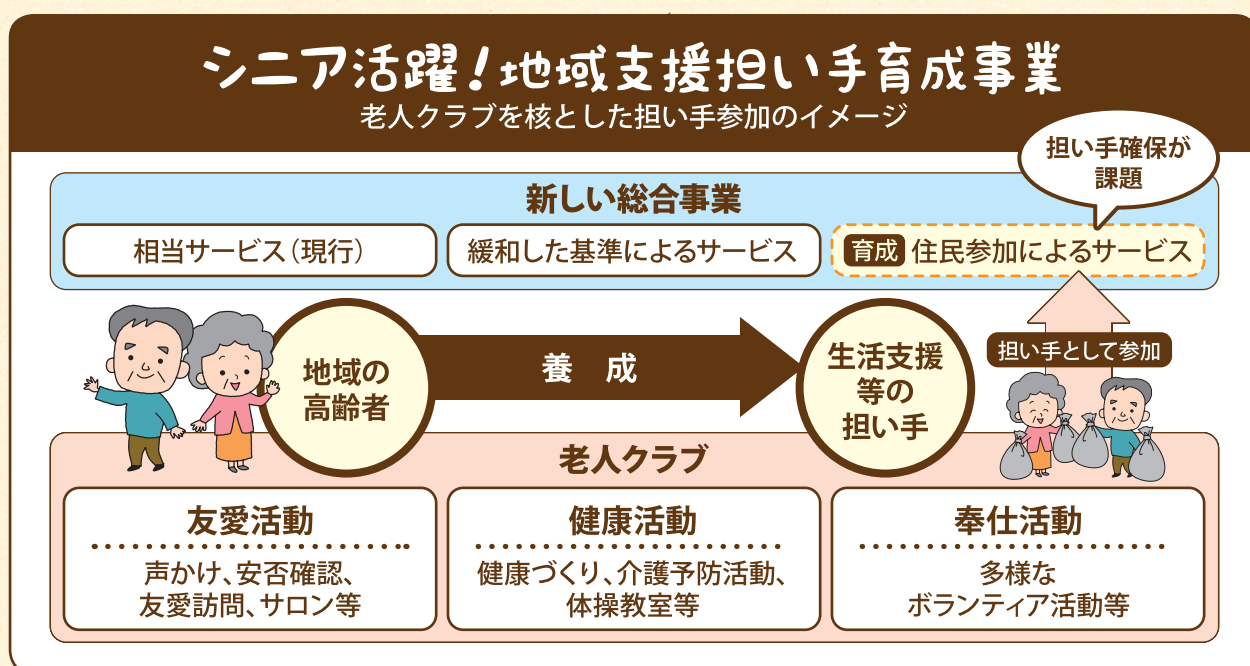
■ 老人クラブ加入案内チラシ	45
----------------------	----



平成29年度 シニア活躍！地域支援担い手育成事業の 取組について

1. 目的

新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）における、住民参加が求められるサービスについて、老人クラブの友愛活動をベースに、公的なサービスとして提供できるようレベルアップし、地域支援の担い手として育成する。



【老人クラブが新地域支援事業に参画することのメリット】

■ 事業化することで補助金が確保できる！

老人クラブで行っている見守り、サロン、助け合い活動を新地域支援事業として取り組むことで行政から補助金が出る。責任も発生するが、それは老人クラブの活動が社会的に認められた証であるし、活動に携わる人たちの生きがいや使命感を高めることにもつながる。

■ 会員増強運動にもつながる！

新地域支援事業で認められる活動は、老人クラブの会員以外の地域の方々も対象として取り組んでいくことになる。

サービスを利用する人にとっては、顔見知りの人が来てくれて話もでき、身近なところで見守ってもらえる安心感が得られる。また、活動する人にとっては、やりがいがあるし、地域の中で大きな評価を得ることにつながる。

この取組がきっかけになって、老人クラブに入ろうという人も増えてくることが期待される。

2. 事業の具体的な取組

(1) 実践モデルクラブの指定

応募のあった3市5クラブをモデル指定しました。

	市町老連名	クラブ名	主な取組（活動分野）
1	宇部市 老連	北迫新町 やすらぎ会	サポート隊・見守り隊、論語講座の充実など （生活支援、通いの場づくり）
2	宇部市 老連	西部 第一寿会	「伝統・復活」健康民謡教室の開催 （通いの場づくり）
3	宇部市 老連	小羽山 第二親寿会	どんぐり山の会の開催（通いの場づくり）、 地区内の環境美化活動（奉仕（ボランティア活動））
4	萩市 老連	佐々並 寿クラブ	おたすけクラブの取組（生活支援）
5	周南市 老連	湯野寿会	地区内の環境美化活動（奉仕（ボランティア）活動）

(2) 老人クラブ活動推進リーダー養成講座～今の時代に求められている老人クラブの役割とは～の開催

⇒ 24ページに概要報告資料掲載。

【第1回（開講式）】

テーマ：今の時代に求められている老人クラブの役割や活動とは

講師：医師 医学博士 山口大学大学院助教 長谷 亮佑 氏

【第2回】

テーマ：友愛活動のレベルアップ！「通いの場」づくりの重要性を学ぼう

講師：ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏

【第3回】

テーマ：友愛活動のレベルアップ！全国の老人クラブ活動先進事例を学ぼう

講師：大阪ソーシャルワーカー協会 会長 大塚 保信 氏

報告者：愛知県 いきいきクラブ宮津山田達者会

【第4回（閉講式）】

テーマ：「老人クラブの介護予防・健康づくり活動 元気に体操し、健やかな100歳をめざそう！」

「いきいきクラブ体操をマスターしよう！」

講師：順天堂大学 名誉教授 武井 正子 氏

⇒ 計187人の受講者のうち、88人が全4回すべての講座を修了され、「第Ⅰ期 老人クラブ活動推進リーダー」として、山口県知事名の修了証を交付した。